

## 新春に縁起だるまなどの露店ずらり



新春恒例の初市まつりが一月九日に本町通りなどで開催。だるまなどの露店が約八百軒ずらりと並びました。お焚き上げや渡御行列が行われた午前中から大にぎわい。夜になると売り買いの声も一層響き、だるまを抱えた家族連れなどが楽しそつに歩いていました。

## まえばし えし フラッシュ コミュニティ

## 初点検で気持ちも新た



1月11日、市役所12階市民ロビーで交通指導員初点検が行われました。小学校、PTA、自治会から推薦された97人が出席。高木市長から服装や装備品の点検を受けました。交通指導員は登下校時など、地域の交通安全のために活躍。今年1年、市民の皆さんを事故から守るため、気持ちを新たにしていました。

## 「広報まえばし」県1位

県と県広報協会が主催する平成十八年市町村広報コンクールで「広報まえばし」が市の部で県一席に選ばれました。映像の部でも「まえばし子ども探検隊」前橋市のゴミのゆくえをさぐる」が一席になりダブル受賞。全国コンクールへ出品されます。



**20歳の力を  
市政に生かして**

成人式を迎えた皆さんは夢や希望を抱き、決意も新たにされていると思います。二十歳を迎えると選挙権をはじめ大切な権利が与えられ、同時に社会に対しての責任が求められます。権利と責任を認識し、目標に向けてまい進してください。

本市は合併し、新たな歴史に向かって踏み出しています。元気で楽しい前橋をつくるためには、成人の日のを迎えた三千七百八十一人の若い力が大切であり、求められています。新生前橋市政に対する関心と力添えを忘れずに、元気で明るく自らの運命、人生を切り開いてください。(平成十七年度前橋市成人祝式典、一月八日、県民会館)



百六十七の小柄な体格ながら、一年生から前高レギュラーで三塁を守り、二年生の七月から主将に。昨年夏の県大会では攻守にチームを引っ張り、十九年ぶりの母校甲子園出場を果たした。「一年の夏は県大会決勝

で負け、二年では初戦敗退。この悔しさが、三年での甲子園出場につながったのだと思います。厳しい練習に耐えてきた自信があつたから、高校球児の聖地である甲子園のグラウンドでも緊張せずにプレーできました。そこで校歌を歌えたことが一番の思い出です。

日本大への進学も既に決まり、二月中旬には硬式野球部の練習に参加するため入寮する予定です。

「最近家で弟とトレーニングしたり、守備練習を手伝ったりするくらい。しばらく、本格的な練習から遠ざかっていたので、走り込みなどで体力づくりをしなくては思っています。」

将来は高校教諭になって野球部の監督をすることが夢。指導者として、再び甲子園の土を踏んでほしい。

# ふれあい広場

情報をお寄せください。市役所市政発信課 890-6642へ。

## 寒さも吹き飛ば どんど焼き

東地区

一月十五日、小相木町ではどんど焼きを行いました。毎年、町の発展と無病息災を願う多くの人たちがにぎわいます。

早朝、小屋作りが仕上がり、どんど焼きを知らせる触れ太鼓の音が町内に響き渡ります。正月飾りを手に集まった人に甘酒や豚汁が振る舞われ体はほっかばか。棒の先にくくり付けたス



ルメやもちをあぶり、冬の風物詩を楽しんでいます。

同町の小林亀吉自治会長は、「戦時中を除いて続く行事。町民みんなの思い出になってほしいですね」と話していました。

## まちの ニュース news

## 駅伝を通じて 地域の親ほく

粕川地区



毎年恒例の粕川地区駅伝競争大会が一月十五日に行われました。この大会は、住民の体力向上と親ほくを図ることが目的で、今年で三十六回目です。

自治会ごとに、小中学生の部と一般の部に分かれ、一八・五のコース、九区間を十五チーム、百三十五人の選手が優勝を目指し、力走しました。

粕川町深津の第八中継所からはアンカーが出走。八人の汗がしみ込むたすきを受け、沿道からの大きな声援に送られ、ゴールを目指して、力強く駆け出しに行きました。